

岐阜県立不破高等学校

校 長 岩田 善隆

学校所在地 不破郡垂井町宮代 1919 の 1 電話 0584-22-1002

1 会議の名称 岐阜県立不破高等学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成 (評議員は五十音順)

評議員	一瀬 弘子	宮代保育園園長
	岩田美恵子	P T A 役員
	竹嶋 正己	前宮代地区連合自治会長
	中村 義孝	垂井町社会福祉協議会会長
	丹羽 豊次	同窓会会長
学校側	岩田 善隆	校長
	棚橋 毅	教頭
	田中 雅之	事務長
	橘 博	教諭
	川瀬 英樹	教諭
	岡田 真紀	教諭
生徒	5名	

3 会議の目的 学校運営について地域住民や保護者から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成29年2月2日(木) 10:30~12:00 校長室
評議員5名・生徒5名・学校職員6名

5 会議の概要

(1) 本校の現状と課題

・外部評価について

アンケート集計結果の報告と分析。

・自己評価について

学校経営・学習指導・生徒指導・進路指導について、具体的取組、実践内容、成果について報告し、来年度の課題の把握。

(2) 生徒発表

3年次生徒5名が、『不破高校で頑張ったこと』というタイトルで各自の体験を語った。発表内容は、学習・進路・生徒会・部活動・生活の5分野。

(3) 学校評議員からの提案・提言等

- ・生徒の発表は5人とも大変良かった。この3年間の頑張りを糧にこれからもがんばり続けてほしい。
- ・社会に出たら悩むこともあるだろうが、今何ができるかを考えて次につなげるとよい。
- ・「ありがとう」が言えることがよい。5人全員の話の中に「ありがとう」の気持ちがあり素晴らしい。このような体験ができた高校に入学できてよかった。
- ・保育園実習は、園児にもプラスだが高校生も園児と一緒に活動した後の表情や物腰がよくなるので、今後も園児との交流を大切にしてほしい。
- ・地域交流をより活発に行って、不破高生のよいところを伝え、郡内生徒の確保に努めてほしい。
- ・ボランティア活動が就職につながると良いが、直接つながらなくても、体験を面接等に生かして行ってほしい。
- ・垂井町のまちづくりに、生徒も参加し興味関心を持ってほしい。
- ・もっとどんどんメディアに取材依頼し、学校の頑張りをアピールしてほしい。
- ・生徒がいかに楽しく学校に来るかの雰囲気づくりが必要である。生徒の要望を聞いてかたちにしていくと励みになる。
- ・「問題のある生徒は宝である」その子の意見を聞いてやると伸びる。

(4) 会議のまとめ

今回の評議員会では、①生徒や保護者等を対象としたアンケート結果から現状を分析し報告 ②自己評価を各分野・分掌別に説明 ③3年生の生徒の発表 その後、学校評議員の皆様から忌憚のないご意見やご提言をいただいた。客観的な視点から、次年度の計画につなげることのできるような具体的ご意見を拝聴することができた。貴重な助言を真摯に受け止め、生徒や保護者、地域からますます愛される学校づくりに生かしていきたい。